

障がい者雇用の促進と定着の取り組み

～チャレンジドステーションの活用～



Ohara HealthCare Foundation
Kurashiki Central Hospital

2025年11月13日

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構

倉敷中央病院 人事部

障がい者雇用促進室 チャレンジドステーション

中田 恭子

当院設立について(1923年設立)



創設者
大原 孫三郎
(1880-1943)

尊敬
→
← 多大な影響



岡山孤児院は入所制限をしなかったため、最大で1200人にも上った（右上の円内は十次）

社会事業家 石井 十次と岡山孤児院

倉敷中央病院設立の理由

社会貢献「社会から得た富は社会に還元すべきである」

1. 倉敷紡績の従業員の健康を守るために、医療体制を充実すべき
2. 社会的・経済的に医療の機会に恵まれなかつた市民にも、
医療の恩恵を広め、**貧困と病気の悪循環を断ち切るべき**
3. 1918年、スペイン風邪が大流行した際、充分な治療が受けられず
多数死亡した惨状を見て、一般市民にも開放し、この地に最新の
医療を提供すべき

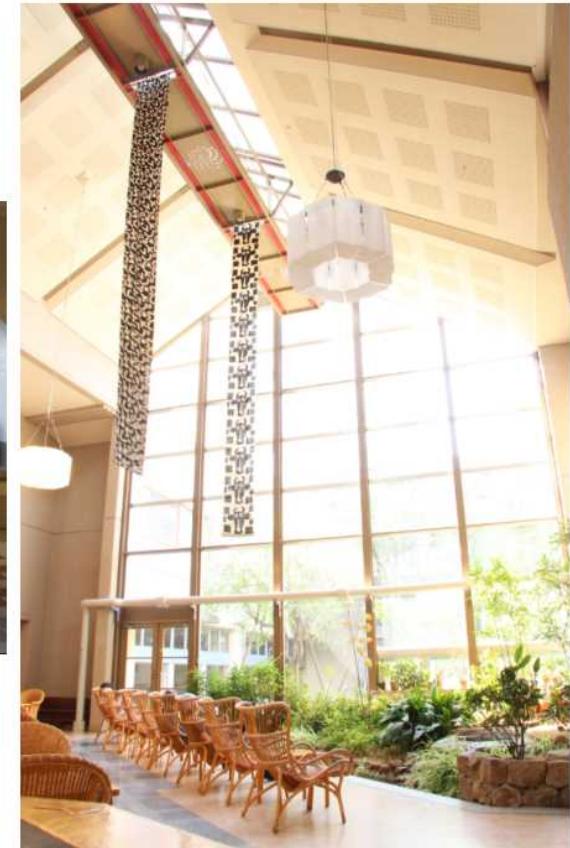


温室

病院くさくない病院



木漏れ日からの発想



セントラルパーティー

私たちの基本理念

私達は、地域住民の健康を守るため、最新・最高の医学による最良の医療を志向し、次のことを実践します。

患者本位の医療

医の倫理にしたがい、患者の利益を優先し、患者の意志と権利を尊重しつつ、奉仕の心と共に感をもって、安全・適切かつ効率的な医療を行います。

全人医療

患者の身体(からだ)と心を癒し、いのちの質を支えるために、知識・技術・人間愛を結集して総合的な医療を行います。

高度先進医療

自ら進んで専門性を深く追求し、世界水準の先進的医療を志向するとともに科学的根拠にもとづいた医療を行います。



当院の概要

病床数 1,172床

職員数 3,862人 (2025年4月1日現在)

医師 540人 看護師 1,384人 薬剤師 100人
医療技術職 504人 その他スタッフ 1,007人 パート 327人

1年間の新入院する患者さんの数 27,626人

1日の入院患者数 953人

1日の外来患者数 2,486人

1年間の救急受診する患者さんの数 47,428人

救急車受け入れ数 9,874件



2024年活動状況より

第33回職業リハビリテーション研究・実践発表会

関連施設

(公益財団法人

倉敷中央病院付属予防医療プラザ



倉敷中央看護専門学校



臨床医学研究所



大原記念倉敷中央医療機構

倉敷中央病院(1,172床)



倉敷中央病院リバーサイド
(130床、内 地域包括ケア病床80床)



倉敷中央訪問看護ステーション



倉敷中央ヘルパーステーション



障害者雇用の方針・取り組み（大原孫三郎の理念を継承）

■風土・仕組みづくり

多様性を認めて協力し合う組織
チャレンジする気持ちの尊重
役に立っていることを実感できる風土の醸成



■指導・教育

その人の能力に応じてスモールステップで行う

■サポート体制の構築（院内・院外）

安心して安全に働けるよう定着に向けたサポート体制の構築



①ワークスペース

②人材確保

③仕事の切り出し

①チャレンジドステーション設立 <2021年10月設立>

「挑戦する人々が集まる場所」「私たちの思いをかなえる場所」と位置づけ開設



②人材確保

専任スタッフ配置（2020年11月）
(障害者職業生活相談員)

- 面接会開催
(ハローワーク)
- 支援学校訪問
- 就労移行支援
事業所訪問



実習



採用

- 見学に来院

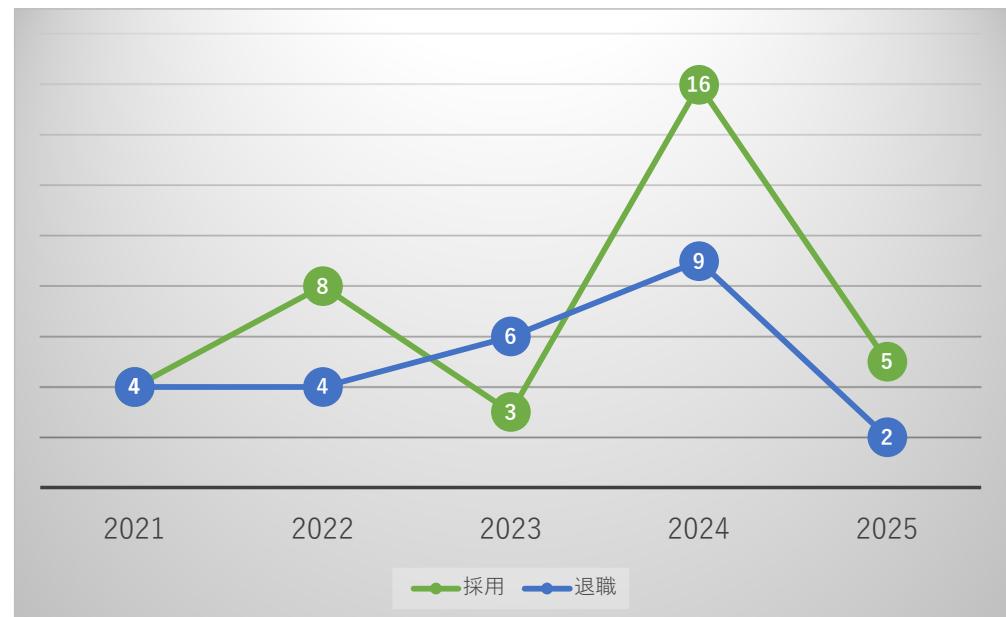


36名
(2021年～2025年度6月現在)

法定雇用率

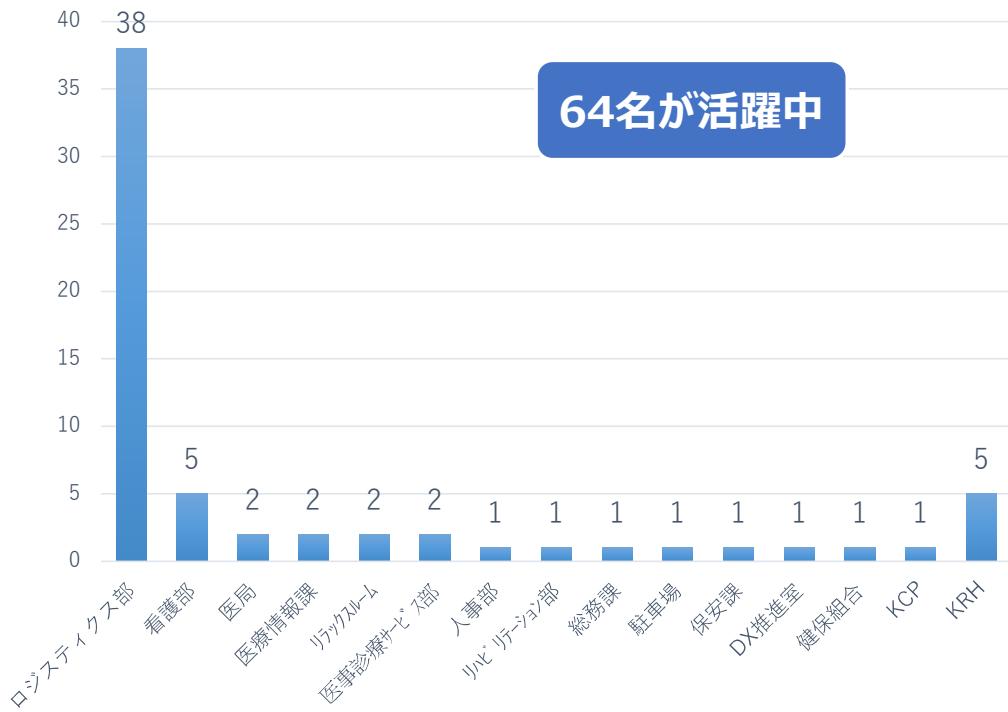


採用と退職の変遷

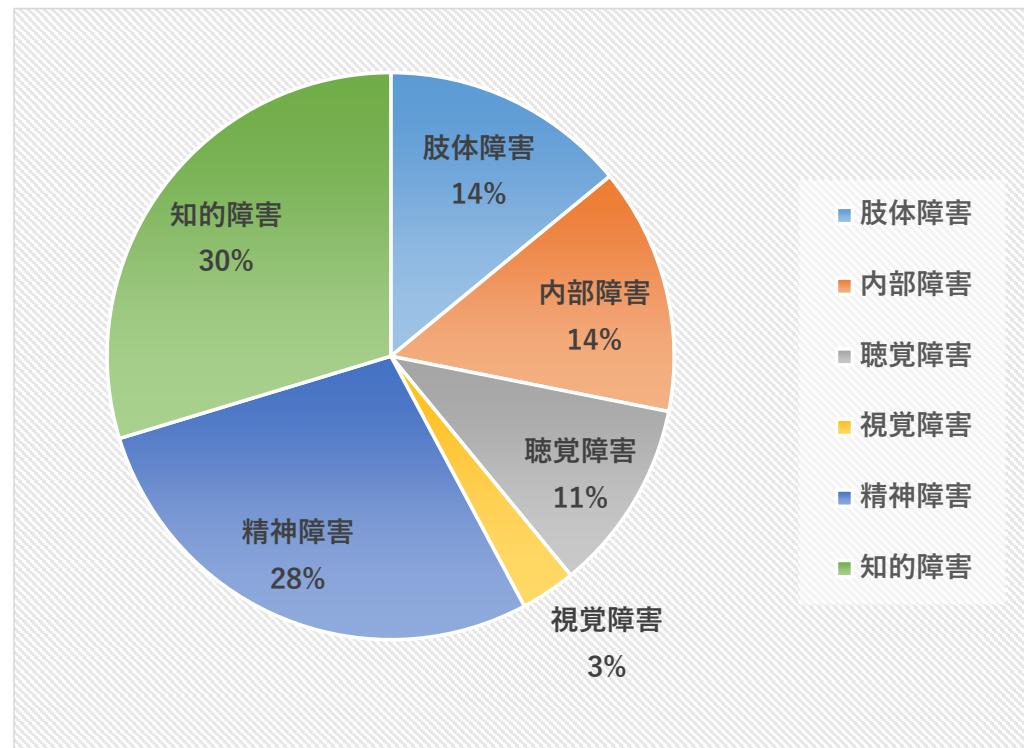


除外率20%

所属部署別



障害別



在職中の手帳取得・クローズ入職も含む

2025/6/1時点

所属部署と業務内容

部署別	入タッフ数	業務内容
ロジスティクス部	38	搬送業務（カルテ・書類・薬品・医療機器・医療材料）、印刷業務、軽作業 薬品、医療材料の検品、手術室支援業務等
看護部	5	病棟、外来の看護業務
医療情報課	2	スキャナー、カルテ整理等
リラックスルーム（福利厚生）	2	職員対象のマッサージ
医事診療サービス部	2	病棟、外来での医事業務
医局	2	診療・研究
駐車場	1	駐車場整理
医療技術部	1	検査業務・リハビリ
健保組合	1	倉敷中央病院健保組合での事務業務
DX推進室	1	事務補助
予防医療プラザ	1	人間ドック、健康診断に関わる業務
倉敷中央病院リバーサイド	5	看護、看護アシスタント、事務補助
その他事務部門	3	
計	64	





倉敷中央病院リバーサイドでは看護アシスタントとして活躍！
ベッド周りの清掃などを行っています



③作業の切り出しと雇用のサイクル

・**業務確保⇒雇用増⇒業務拡大**のサイクルを目指して、職員が
行っている作業の中で専門的知識や技術を必要としない作業
の切り出しを各部署に依頼。
その作業に費やしていた時間を患者さんのために使ってほしいと
いう願いもある。

【切り出された作業】事務部門

印刷（各種）
書類・パンフレットセット
入院案内ファイル作成
ダイレクトメールや資料の封入
スタンプを押す
データ入力

72種類の切り出しがあり順次実施

【切り出された作業】看護部等その他部門

医療用テープ加工
検査用パンツの加工
リボンクリップの作成
グリーンチューブ加工
リネンの手入れ
採尿セット
採便セット
防水シーツ加工
滅菌パック加工

チャレンジドステーション ワークルームでの仕事 (切り出された仕事)



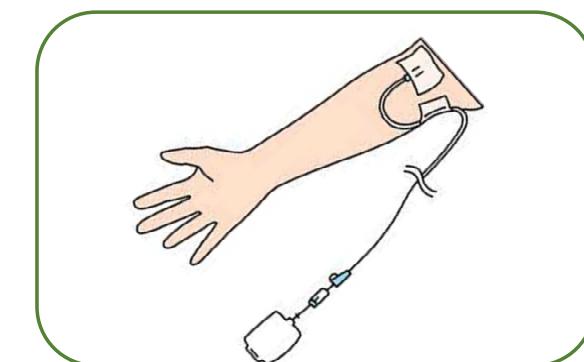
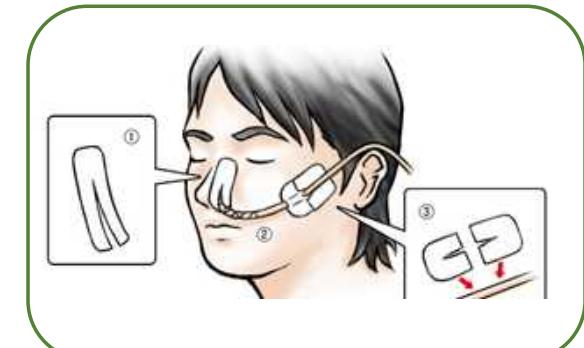
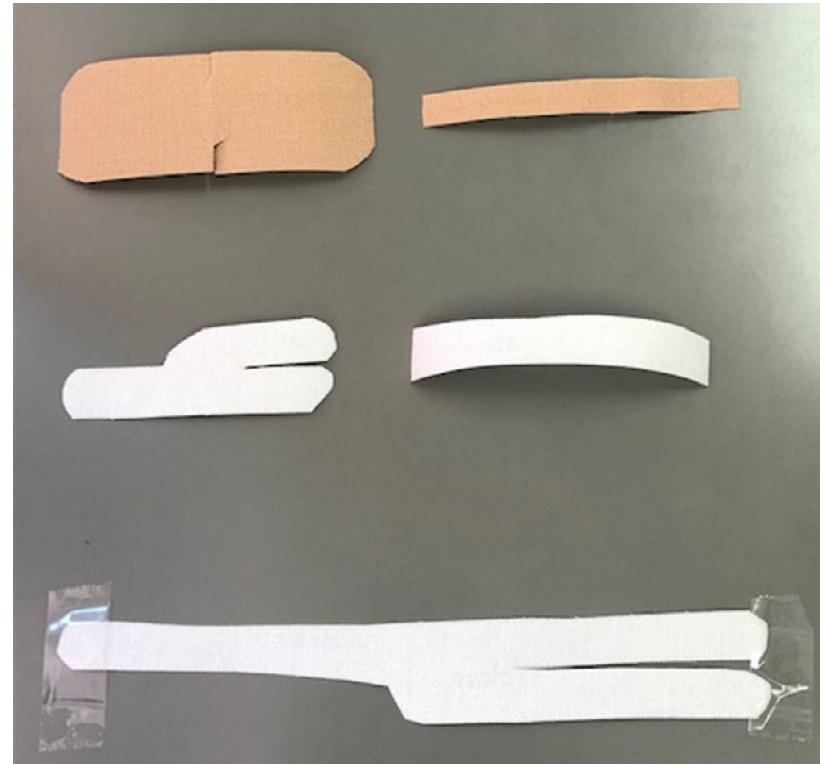
入院案内のセット



チューブのカット

点滴やチューブを固定するテープの加工

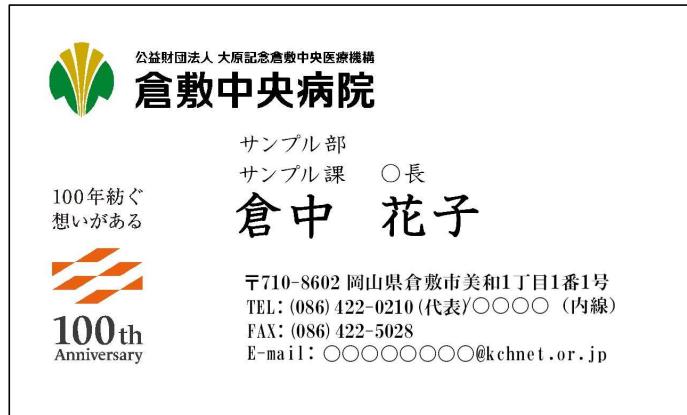
かなり複雑で器用さが必要



印刷業務

月に約400件

☆名刺作成☆



●搬送の仕事

病棟搬送用カート



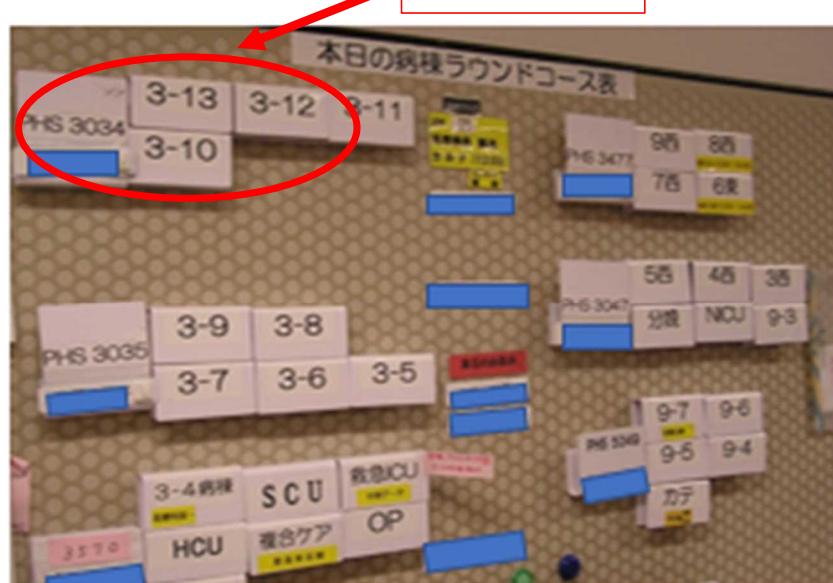
GO!

検体搬送



● 搬送ルート

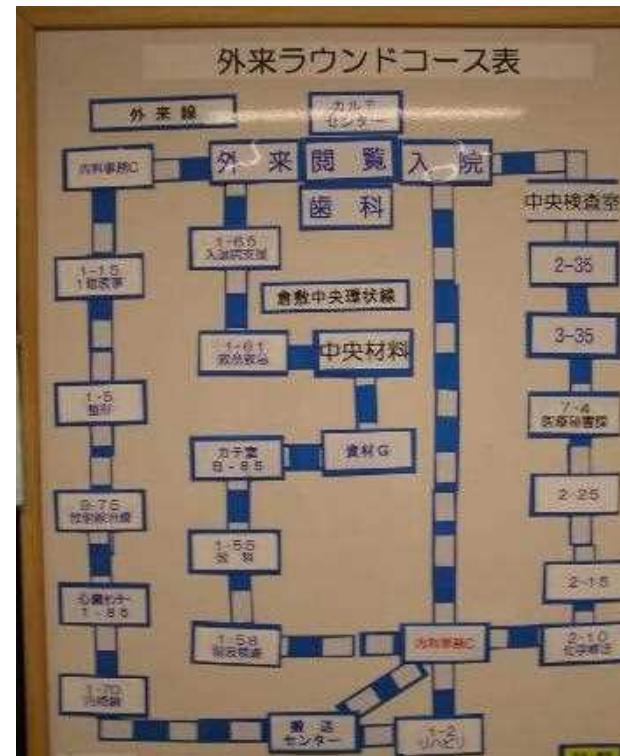
〈病棟〉



36病棟（全体）
1人が4～6病棟を担当

〈外来〉

電車の路線図のような コース



3つのコース
Aコース・Bコース・Cコース

＜地下搬送＞

本日の担当

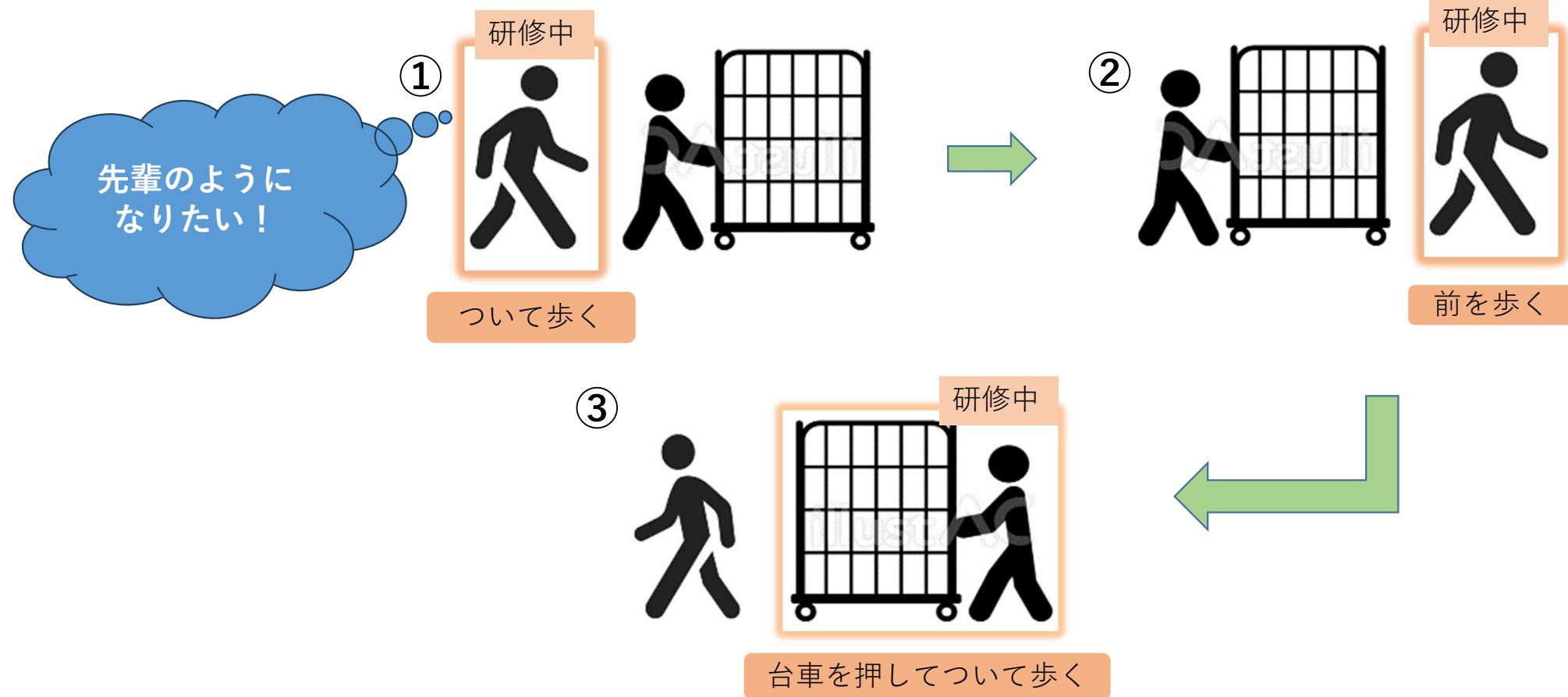


作業は時間ごとに決められている
終了したら裏返す

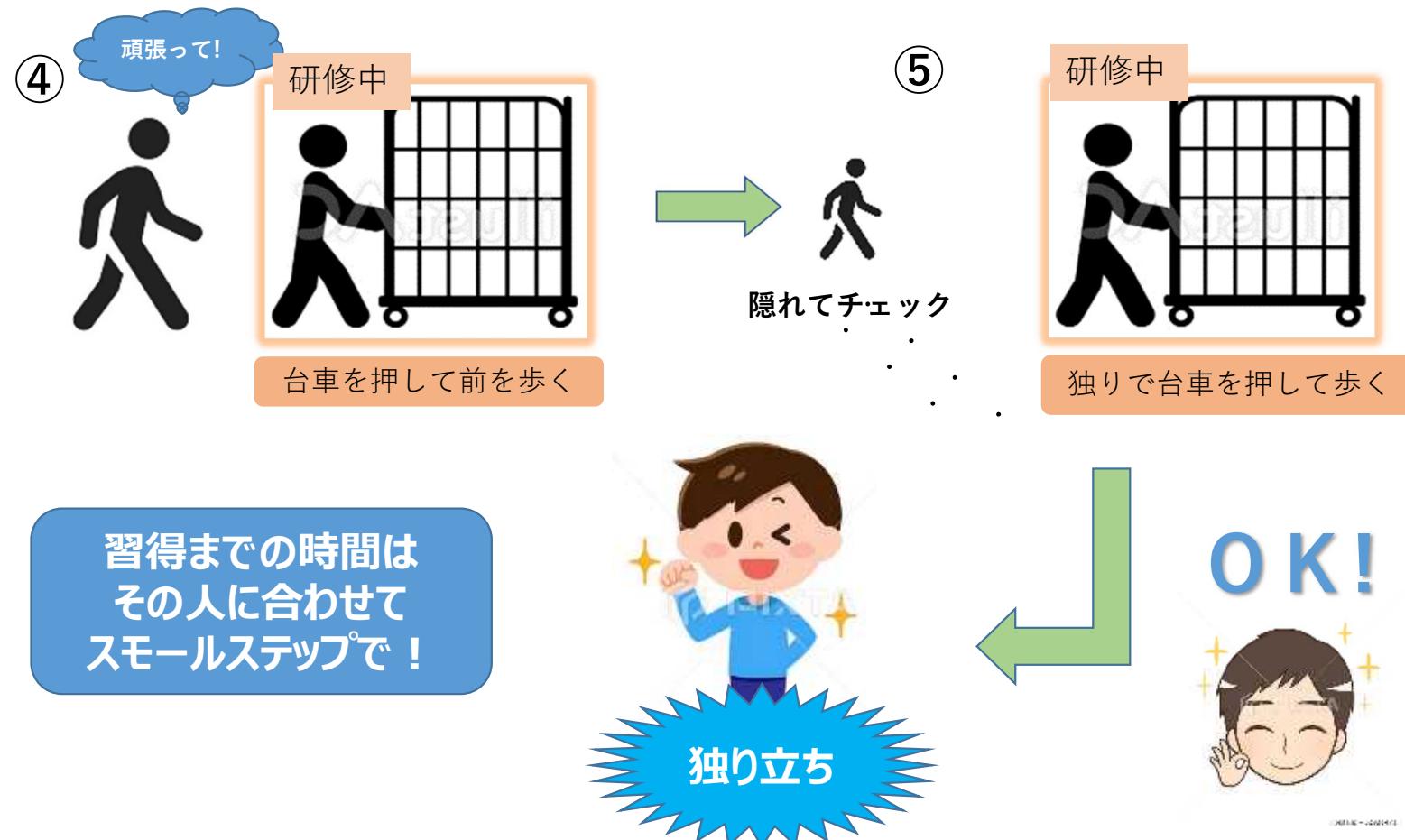
搬送業務での独り立ちまでの5ステップ①～③



先輩（障害者）が指導を担当
指導することでモチベーションアップ



搬送業務での独り立ちまでの5ステップ④～⑤



●職場定着、継続して働いていただくための サポート体制（いつも気を配っていること）

- ・情報を共有する（院内・院外）

院内：職場の上司、リーダーなど

院外：就業・生活支援センター

職場定着支援者など

- ・定期面談の実施

- ・相談しやすい雰囲気づくり

- ・一緒に働く周りのスタッフへの感謝



院長・事務長との「ふれあい懇談会」を開催（2024年10月31日）



就職した動機や感謝
今後の目標など発表し院長
事務長から励ましの言葉を
いただきました



障害者雇用研修会

障害者と共に働く取り組みについて



2025年
7月9日（水） 17:30～18:30
会場：3-3-6
対象：管理職等

障害者雇用は義務化されており法定雇用率2.5%を
求められています。（2026年7月には2.7%へ引き上げ）
障害者雇用について院内理解を促進し受け入れる際の
不安、障害特性、必要な配慮、支援の方法など分かり
やすくご解説いただく予定です。

講師

2024年：JEED 岡山障害者職業センター
2025年：倉敷障がい者就業・生活支援センター



目的：障害者雇用に関する院内の理解を
深め雇用する側の質の向上

自分の部署でも仕事があるかも？
→職域開拓

G7倉敷労働雇用大臣会合視察（2023/4/22）



●私たちが行っている仕事はすべて 患者さんの役にたっています！

